

【FdData 中間期末：中学歴史：原始古代】

【日本の旧石器時代】

[大陸と陸続き]

[問題](1 学期期末)

次の資料は、ナウマン象の化石や打製石器が発見された場所を示したものである。ナウマン象が活動し、人々が打製石器を使っていたころの日本列島の様子を説明した文として正しいものを1つ選べ。



- ア 今よりも海水面が高く、ナウマン象の化石や石器が発見された場所のみが日本列島であった。
- イ 今と同じ海水面であった。
- ウ 今よりも海水面が低く、大陸と陸続きであった。

[解答]ウ

[解説]

[野尻湖の化石]

ナウマン象とオオツノジカの化石
氷河時代海面が低く、大陸と陸続き



長野県の^{のじりこ}野尻湖では、数万年前の^{ちそう}地層からナウマン象のきばとオオツノジカの角の^{かせき}化石が発見された。^{ひょうが}氷河時代には、^ふ陸地に降り積もった^{こお}雪が凍ってしまいうために海水が減り、しばしば海面が今よりも100m以上も低く、日本列島が大陸と陸続きになっていた時期があった。そのため、北からはマンモス、南からはナウマン象やオオツノジカなどの大型の動物がやってきた。

これらの動物を追って日本列島にやって来た人々

は、^{だせい}打製石器をつけたやりなどを使って、動物をとらえたり、植物を採集したりして食料にしていた。人々は10人前後の集団をつくり、簡単な草ぶきの小屋や岩かげなどに住みながら獲物を求めて移動し、火を使ってくらしていた。

[問題](1 学期中間)

旧石器時代に大陸に生息していたマンモスやナウマン像の化石が日本列島でも見つかっている。このことから、当時日本列島はどのような状態であったといえるか。

[解答]大陸と陸続きであった。

[問題](1 学期中間)

かつて日本は大陸と陸続きだった。このことは、どんなことからわかるか。「ナウマン象」「オオツノジカ」「野尻湖」という言葉を用いて簡潔に説明せよ。

[解答]大陸にすんでいたナウマン象やオオツノジカの化石が野尻湖で見つかったことなどからわかる。

[岩宿遺跡]

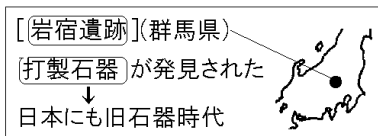
[問題](2 学期期末)

1946 年、群馬県のある場所の 3 万年前の赤土の地層の中から、右の写真のものが発見され、日本にも旧石器時代があったことが確認された。①ある場所とはどこか、②また、右の写真は何という道具か。



[解答]① 岩宿 ② 打製石器

[解説]

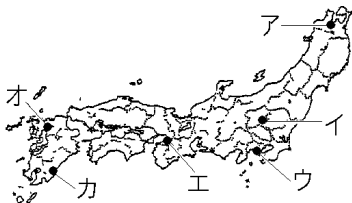


かつては、日本には旧石器時代はないと考えられていたが、1946 年に群馬県の岩宿遺跡で打製石器が発見され、日本にも旧石器時代があったことが明らかになった。

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の資料は日本で初めて発見された、石を打ち割ってつくった〇〇石器である。〇〇にあてはまる語句を答えよ。
- (2) (1)の石器は、どこで発見されたか、下の地図のア～カから選べ。また、それは何県にあるか。



[解答](1) 打製 (2) イ, 群馬県

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 打製石器は群馬県で発見された。この遺跡の名を書け。
- (2) 打製石器が日本列島で発見されたことにより、歴史上明らかになったことは何か。

[解答](1) 岩宿遺跡 (2) 日本に旧石器時代があったこと。

[問題](1 学期期末)

日本列島の旧石器時代の様子としてあてはまらないものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 人々は、石器を付けたやりなどを使って狩りをしていました。
- イ マンモスやナウマン象やオオツノジカなどの大型の動物が住んでいた。
- ウ 人々は、簡単な小屋や岩かげなどに住み、火を使って暮らしていました。
- エ 人々は、土器を作り、木の実や魚貝などを採集してくらしていました。

[解答]エ

[解説]

エが誤り。土器が作られるようになったのは新石器時代(日本では縄文時代)からである。

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr1/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com